

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	結核予防事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	保健センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	予防係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり		1 体の健康づくりへの取組みを支援する				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	1	目	2	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	感染症予防法									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	幼児を対象に結核を予防し、高齢者を対象に結核を早期に発見し、結核の感染の広がりを防いでいく。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生後6か月以内の幼児を対象に保健センターでの4か月児健診時にBCGの接種を実施した。 ・65歳以上の高齢者を対象に各市民センター、公民館、コミュニティーセンターで健診車によるX線撮影を実施した。 ・職員は、BCG予防接種の受付及び介助、胸部X線撮影の受付事務等を行った。 <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 賃金等(797千円) 消耗品、医療材料費等(3,213千円) 結核予防委託料等(3,554千円) <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 賃金等(861千円) 消耗品、医療材料費等(5,610千円) 結核予防委託料等(5,080千円) 									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	9,511	9,296	7,565	11,551	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	533	533	533	533
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	10,044	9,829	8,098	12,084	
対前年比		%		97.8	82.3	149.2		
財源	一般財源	千円	10,044	9,829	8,098	12,084		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	BCG実施数	回	目標	48	48	48
実績				48	48	48	
胸部X線健診実施数(住民健診)		回	目標	5	5	5	5
			実績	5	4	5	
			目標				
			実績				
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
BCG接種者数	人	目標	—	—	—	—	
		実績	1,444	1,467	1,363		
胸部X線検診受診者数(住民健診)	人	目標	500	500	500	500	
		実績	263	246	242		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	結核の感染を予防するためのBCG接種率は97.1%であった。結核を早期に発見するために、胸部X線検査を65歳以上の高齢者を対象に実施した。受診者数は、242人と年々減少しているが、各医療機関で行っている胸部X線検診は、年々増加しており、この検診において結核の有無の読影も実施している。				
		事業実施における課題	結核の感染を早期に発見するためには、高齢者等の受診者を増やす必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	結核の感染者が増加し、入院者、死亡者が増加する。				
		平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	胸部X線検査の受診者を増やすため、広報での周知、地区でのミニ健康展との同時検査、老人福祉センター及び北里市民センターでの検査等を実施することとする。			
		平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
		判定理由	BCG接種、胸部X線撮影により結核の感染の広がりを防ぐために必要であるため。				
		26年度以降の改善案	胸部X線検査の受診者を増やすため、広報での周知、地区でのミニ健康展との同時検査、老人福祉センターでの検査等を実施することとする。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持